

関東地方整備局管内 工事事故事例 【令和元年度 5月期】



関東地方整備局
企画部 技術調査課

■工事事務発生状況

令和元年5月期(5/1~31)までに、関東地方整備局発注工事において**4件**の工事事務が発生。

	5月発生件数	累計件数
令和元年度	4 件	5 件
平成30年度	3 件	8 件

本資料においては、発生した事故の一部の事例について、発生事象や発生原因、本来とるべきと考えられた行動、事故を受けて立案された再発防止策等を紹介しています。

令和元年5月期 工事事故発生事例

【事故事例①】 堤防除草中に飛石により、第三者車両の窓ガラスを損傷

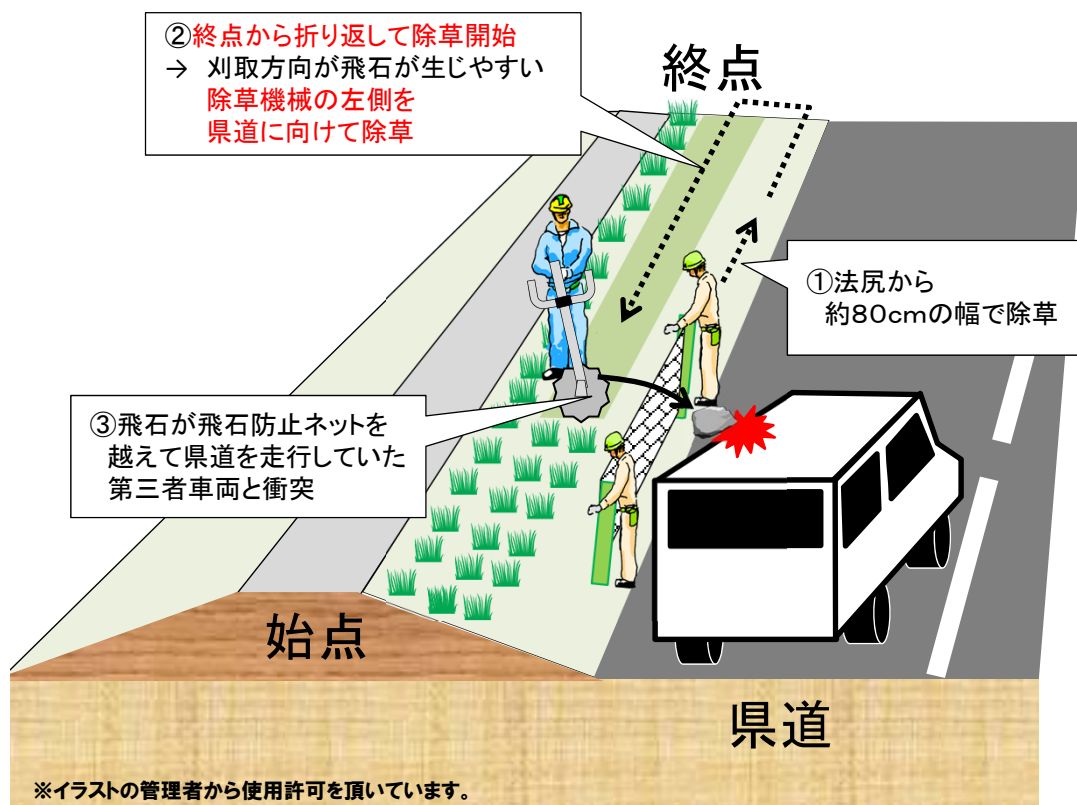
工事種別	維持修繕工事	事故発生日	令和元年5月29日	気象条件	晴れ
------	--------	-------	-----------	------	----

■事故概要

公衆損害 - 第三者車両に対する損害

- ・ 肩掛式除草機械で堤防を除草中、飛び石により、堤防脇の県道を走行中の第三者車両の窓ガラスを破損させた。

■事故発生状況



令和元年5月期 工事事故発生事例

【事故事例①】 堤防除草中に飛石により、第三者車両の窓ガラスを損傷

発生要因

○刈取方向の周知不足

肩掛け式除草機械の刈刃は反時計回りに回転する方向であるため、飛石が除草機械の左側方向に飛びやすい状況であった。

○法尻付近で持っていた「飛石防止ネット」を越えて県道へ飛び出してしまった

法尻付近で、作業員2名で持っていた飛石防止ネットの高さが不足、ネットを越えて県道へ石が飛び出してしまった。

◆本来ならば・・・

- ・ 飛石が生じやすい除草機械の左方向を県道へ向けない配慮が必要であった。

再発防止策

○刈取方向の周知徹底

飛石が生じやすい除草機械の左側を県道へ向けないように周知徹底する。

○飛石防止ネットの拡大

H=1.0m、W=4.0mであったネットをH=1.5m、W=4.0mとし、さらに張り出しを設けるなどネットを拡大する。

○施工環境に適した肩掛け式除草機械の選定

「逆回転ハサミ刈り式刈刃」を採用することにより、飛石によるリスクを低減する。